

木材ジャーナル名古屋・世ぶ

平成27年8月号 No.99

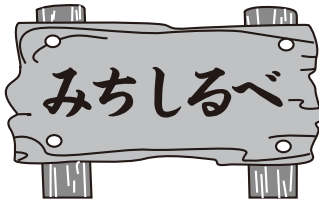
名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合



名古屋木材組合 創立130周年記念ロゴマーク



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



農耕的

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺木 昌行

当社（丸美産業(株)）は、本業はもちろん木材事業であるが、私が社長在任中（1984～2008年）の間、当社を支えてくれたのはマンション事業である。当社のマンション事業は1972年にスタートしているが、最初に（マンション）事業に挑戦したのは父・嶺木一夫である。父は本業の木材事業と比較して、木材事業は農耕的であるが、マンション事業（不動産事業）は狩猟的であるから、決して木材事業から離れるなど常々言っていた。農耕的とは地道に工夫と努力を重ねればそれなりの収穫が見込まれる事業で、狩猟的とは狩猟場に恵まれれば工夫・努力がそれほどなくとも大収穫が可能な、極めて運と環境に作用される事業という意味である。

父の方針は、環境の良い時は不動産事業をやっても良いが、環境が悪い時は木材に徹し、やらない方が良いと言っていた。私は二代目として、本業の木材だけでは将来は難しいと思い、ならば不動産事業を農耕的にやる方法はないか、それを一生懸命考え、挑戦してきた。その時に非常に勉強になったのは、農耕事業の典型、木材事業そのものである。父・嶺木一夫をはじめ、上地武氏（上地木材(株)）、鈴木正治氏（材惣木材(株)）、桐山富治氏（名古屋木材(株)）等々、先輩諸氏の言動が当社のマンション事業を大いに育ててくれたと、心から感謝している。

農耕事業とは、多くはなくても毎年安定した収入を得ることにある。狩猟に例えるなら、決してイノシシ・シカを狙わず、ウサギ・ネズミを捕獲して生計を立てることにある。小さい獲物中心の戦略を取った。たくさん建てない、大きいものを建てない、品質・サービスは次の顧客を得るために他社に絶対負けるな。やってみればそれなりに結果は得られるものである。

当社のマンション事業の特徴は、30年の歴史の中で当地区ベスト10に入ったことは2～3度しかなく、毎年10～20位の供給戸数である。これは決して狙ったわけではなく、安定経営の結果がもたらす位置になっているのである。もうひとつは、土地神話崩壊期（バブル崩壊）に、大手・中型デベロッパーの多くが倒産・廃業していく時、当社のマンション事業は飛躍的に伸びた。理由は、絶えず余分な獲物を狙おうとしなかったからである。具体的には、来年分の土地しか買わなかったため、地価大崩落時に高い原価の土地を数年分仕込んでいた多くの他業者を尻目に、無競争により極めて安い土地を数年間手に入れられ、大儲けできた。もちろんその利益の半分はお客様にまわし、次年度以降の収穫の種まきとした。マンション事業の顧客への還元は、入居時（決算は終了している）から初めてお客様との付き合いが始まるということであり、入居後サービスの向上に他社に負けないように努めた。以上、不動産事業を農耕的という当社のマンション史を紹介させていただいた。

余談であるが、民族や国家の歴史を見た場合、農耕民族は長い安定した歴史を持っている。一方、狩猟民族は一時的に大発展しても、不安定で戦争の絶えない歴史を辿っている。エジプト・中国（黄河文明）・インド（インダス文明）は今も大国であり、一方狩猟民族のメソポタミアはどこへ行ってしまったのだろうか。日本は狩猟民族国家ではない。農耕民族国家であることをきちんと認識し、アメリカをはじめ、現在世界をリードしている国々のやり方やルールを再検討すべきではないだろうか。狩猟民族国家の文明は大成長の一方、大崩壊になりがちだということを、私は歴史から学びたい。

◆ 合縁木縁 ◆

『インサイドヘッド』

「インサイドヘッド」という映画を観に行きました。まだこれからご覧になる方もみえるかと思うので詳細は省きますが、12歳の子供の頭の中でヨロコビ、カナシミ、イカリ、ムカムカ、ビビリの5つの感情があーだ・こーだとせめぎあい、「幸せになる」ことを目指していく物語です。その5つの感情が頭の中でせめぎあっている描写がたくさん出てくるのですが、時には合議で、時には一つの感情が突っ走りながら行動を決定していきます。前向きになり、後ろ向きになり、時に自棄的になり・・・でもそれらは全ての感情が「幸せになる」というブレない共通の目的を持って全力で考え行動しているのです。2歳になる自分の息子とダブって見えてしまい、映画等で泣いたことのなかった私が不覚にもウルッときてしまいました。父親になったせいなのか歳を取ったせいなのか映画館でちょっと恥ずかしい気持ちになりました。

さてこの映画で描かれる頭の中での様子を身の回りのことに置き換えてみると、自分自身の意思決定、家族の意思決定、ちょっと飛躍して会社の意思決定、いろんなものに当てはまってきます。

さらに飛躍させて会社運営に思いを馳せてみました。ブレない目的を全員で共有できているか？その目的は何か？的確に発信できているか？等々、できていること、いないことが次々と浮き彫りになってきます。

会社の代表となって3年目、先代と共有する部分、変える部分を見定め、ブレない目的をはっきりと内外に示していかなければと、改めて強く感じました。

水野商店は一人でやっているわけではありません、小規模ながらも組織で運営しています。所属している人の思いはそれぞれです。平成27年7月現在は非常に弱々しい状況ですが、ブレない目的を全員で共有できれば、そのアプローチの方法は違っていても必ず良い結果が出てくると思います。毎年掲げる目標の陰にある、会社としての「目的」を見失わず、関わる全ての人が「幸せになる」ことを目指して全力で突っ走ろう！と、そんなことを考えた嫁とのデートの帰り道でした。

今回は(株)林経新聞社 渡邊健氏にお願いします。

◆ 自遊で異見番 ◆

「名古屋木材組合130周年記念事業」

名古屋木材組合創立130周年記念事業に昨年11月より広報委員会のひとりとしてかかわらせて頂いています。

記念事業はロゴマークの公募、記念講演会および懇親会（8月21日キャッスルプラザ）、ゴルフコンペ（8月22日南山CC）そして130周年記念ジャーナルの発刊（11月予定）の大きく4つを主な柱として構成しています。これらは広報委員会と文化厚生委員会にて実行委員会を作成し事業にあたっています。

おかげさまでロゴマークについては7月号にて決定され、今後事あるごとに使用をしていきます。また多くの事業所様におかたましては記念特集号の広告掲載に多大なご協力を頂戴いたしましたこと、私からも御礼申し上げます。

130年とはとても長い歴史であります。130年前は1884年、明治17年であります。伊藤博文初代総理の内閣制度発足そして日本銀行券の発行の前年であり、鉄道網が首都圏を中心に開通するなどまさに明治維新の時代でありました。列強が清国を干渉し清仏戦争が勃発したのもこの年であります。朝鮮の独立運動、甲申事件が起きたのも同年であります。アジアは大きな変革期に入り始めていました。それから130年の時間を経たわけです。

今回の記念行事をその歴史にふさわしくまた単に派手派手しくなく、名古屋木材組合の歴史に恥じぬような内容にと先輩諸氏からも数々の助言を頂戴いたしました。

このように講演会等の事業が皆様のご支援のもと、無事遂行できましたことをご報告するとともに深く御礼申し上げます。

残すところは記念ジャーナル発刊であります。広報委員会全員一丸となって作成に邁進いたしますのでさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

お知らせ

☆☆☆ 平成27年度 全国労働衛生週間について ☆☆☆

メンタルヘルス対策や過重労働対策等の推進を図り、誰もが安心して健康に働ける職場を実現することが求められています。このような背景の中、本年も全国労働衛生週間が9月1日から9月30日までを準備期間、10月1日から10月7日までを本週間として全国的に展開されます。

☆☆☆ 安全衛生講習会について ☆☆☆

名古屋港木材産業協同組合の産業安全衛生委員会では、組合員事業場における労働災害ゼロに向けた活動を行っていますが、その一環として、「講習会」を開催します。組合員各位におかれましては奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：平成27年9月10日（木） 13:30より

場所：名古屋港木材会館 会議室

講師：平松 晃氏（林業・木材製造業労働災害防止協会）

※ 会場の都合がありますので、参加ご希望の組合員の方は、8月25日（火）までに会社名および人数を事務局までお知らせください。（事務局 Tel 0567-57-2017）

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

トラックのバッテリーが狙われています!!

バッテリー盗難の実態

- ・本年、トラック、コンクリートミキサー車等、バッテリーが外部から見える位置に取り付けられている車の被害が目立っています。
- ・被害多発場所は、運送業者、建設業者の会社敷地内になります。

[被害に遭わないために]

- 会社敷地内や駐車場には盗難防止ネジ、防犯カメラ、センサーライト、警告看板等を設置することによって、関係者以外が立ち入らないようにすることが効果的です。

◆ 広告コーナー

新型 **GENEO** 誕生!



トヨタL&F中部株式会社

本社 TEL:052-882-6411
 名港(営) TEL:0567-55-0722
 小牧(営) TEL:0568-77-5365
 高山(営) TEL:0577-33-4020

《森林資源の充実と間伐材の有効活用も支援しています》

一般港湾運送事業・倉庫業・通関業・チップ生産
 ゴルフ練習場・いかだ運送事業・検量事業

名古屋港木材倉庫株式会社

代表取締役社長 野間 順一

〒457-0836

名古屋市南区加福本通2丁目1番地

☎(052)611-0311

《西部木材港事務所》

〒490-1447

海部郡飛島村西浜8

☎(0567)55-0301

発行 名古屋木材組合

発行者 鈴木和雄

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 嶺木昌行

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会